



6/6

第二の白鷹山関 発見か！？

蚕桑小学校で伝統ある相撲大会

この日、蚕桑小学校では、昭和17年から続く相撲大会が行われ、地域が大いに盛り上がりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、5年ぶりの開催となり、保護者の方のみならず、多くの地域住民の皆さんも駆けつけ熱い闘いを見守りました。

「はっけよい！」の合図でお互いに真っ向勝負でぶつかり合う児童。本気のぶつかり合いに、大きな歓声があがり、勝負が決まると健闘をたたえる拍手が会場から沸き上がりました。

創立101年目を迎えた蚕桑小学校。次なるスタートにふさわしい相撲大会となりました。

▶必勝を胸に、力強く見合う両者
▼正々堂々真っ向勝負でぶつかり合う児童



6/8

交通事故のない未来を願ってー

白鷹町交通安全祈願祭

町民の皆さんとともに交通安全を祈願し、安全運転の意識高揚と交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指すために、この日、白鷹町交通安全祈願祭を開催しました。

特に、国道348号においては、本年4月の重大事故を含む、多くの事故が発生しています。そのような背景を踏まえて、このたび国会議員、県議会議員の皆さまをはじめ、多くの方々に参列いただき、今後の交通安全を祈願するとともに、町民一丸となって安心安全に努めていくことの再確認を行いました。



▲国道348号の方角に向かいご祈禱を行う様子

6/11

園庭を花いっぱい

さくらの保育園で植栽活動

この日、白鷹町土地改良区が主催する植栽活動が、さくらの保育園で行われました。

マリーゴールドやサルビアなど、色とりどりの花に目を輝かせた園児たちは、3つの花を選ぶとそれぞれのプランターに1株1株丁寧に植えました。

プランターへ植え終わると、乾いた土にたっぷりと水を与え、お日さまがいっぱい当たる園庭に並べられました。「毎朝ちゃんとお水を与えます」と、土地改良区の方々に約束した園児たち。愛情がたっぷり注がれている花々は現在も元気に咲き誇り、園庭を鮮やかに彩っています。



▲「きれいな花を咲かせてね」と思いを込めて植えました



5/15

協定締結から 11 年目を迎える 株式会社朝日相扶製作所 絆の森活動

平成 25 年に絆の森協定を締結し本年度で 11 年目を迎える「朝日相扶絆の森」活動が、5 月 15 日にふるさと森林公園で行われ、男性 12 名女性 7 名の計 19 名の社員の方の参加がありました。男性参加者より、平成 15 年に西置賜地区植樹祭で植樹された町有林 0.4ha の下刈り、除伐作業を行っていただきました。

また、女性参加者については、白鷹山に登り町の自然に親しむ活動を行いました。今後においても、森づくりを通してさまざまな場面で㈱朝日相扶製作所と連携を図っていきます。



▲作業を行った株式会社朝日相扶製作所の皆さん

5/26

施設を訪れる人に笑顔を咲かせたい 浅立老人クラブによる「花いっぱい運動」

この日、浅立の老人クラブ「親和会」(高橋弘夫会長)による植栽活動が行われました。

この活動は、町が提唱する「花いっぱい運動」の趣旨に賛同し、毎年行われているものであり、今年も浅立公民館での植栽と、光穂センターの花壇の手入れを行いました。

参加した方は、「初夏のさわやかな朝に、きれいな花の苗を植えたり、雑草を退治したりし、心地よい汗を流せて良かった」と話しました。施設を訪れる方に喜んでいただけることが、会員のエネルギーになっています。



▲花壇の手入れを行っている様子(光穂センター)

6/1

県民みんなで支える森づくり 緑の少年団 やまがた森の感謝祭 2024

6 月 1 日、川西ダリヤ園で開催された『やまがた森の感謝祭 2024』に白鷹町緑の少年団(東根小学校 5 年生 13 名)が参加しました。

この催しは、みどりを育む県民運動として、県内各市町村の緑の少年団が参加し、盛大なセレモニー、記念植樹、森林散策が行われました。

白鷹町緑の少年団もモミジやアカマツの植樹や、ヒメサユリ、ハツチョウトンボなどの希少な植物・生物の観察をし、宝山や飯豊少年自然の家との違いを発見していました。山形県緑の少年団連盟の会長を務める佐藤町長も出席。「子どもたちと一緒に行った記念植樹は、大変有意義だった」と述べられました。



▲参加した児童らで記念撮影